

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
天然記念物

関係のある情報

【場所】新見市哲西町矢田

【時代】不明

【指定年月日】昭和55年3月6日

【所有】新見市

【見学】可

【見学時の注意】

入場協力金200円 営業時間9～17時

「鯉ヶ窪湿原・鯉ヶ窪湿原資料館」

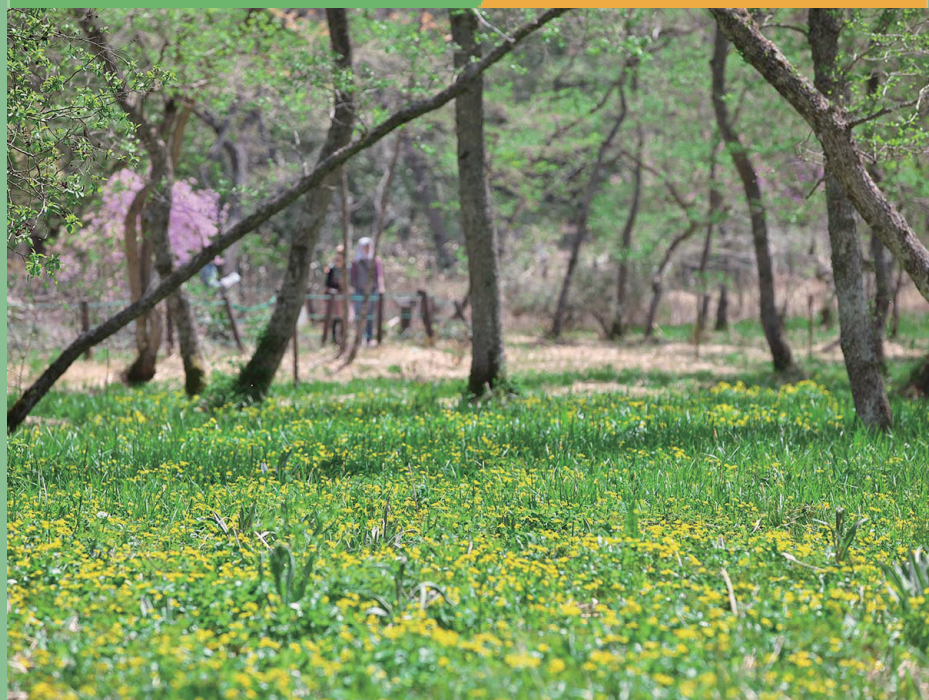
は流域パスポート掲載施設

こいがくぼしっせいしょくぶつぐんらく

鯉ヶ窪湿生植物群落

かんけい しまち
関係する市町

にいみ し
新見市



この天然記念物について

この群落は、新見市の西部、広島県との県境付近にある標高約550mの鯉ヶ窪池の周辺に広がる湿原内にあります。この湿原の平面は鯉の形をしており、常に水湿を保ち、土地の人々が「沢っ田」と呼ぶ泥沼地です。

この湿原には、周りの地域には生息していないオグラセンノウ・ビッチュウフウロなどの珍しい植物や、寒地性植物のリユウキンカ・エゾシロネなどのほか、わが国固有の植物アギスミレ・サワオグルマ・サギソウ・スイランなどが分布しており、植物群落の宝庫です。季節ごとにそれぞれの植物が美しい花を咲かせており「西の尾瀬」ともいわれます。西日本の代表的な湿生植物群落として、学術上高い価値があります。